

八紘嶺登山



富士見台からの富士山遠望



富士見台



山頂にて



山頂からの聖岳



冬山登山口

【日程】 2016年4月10日(日曜日)

【目的地】 八紘嶺 (1914m)

静岡・山梨の県境に位置する八紘嶺登山(山梨百名山)

【ポイント】 安倍奥の春山低山を楽しむ

【メンバー】 やまたくお (I)、手塚、ハンブルクの星、

【行程】

浜松を5時半に出発して7時半ごろに梅ヶ島に到着。八紘嶺登山口近くの道路沿いに駐車。周辺は山桜が満開の状態で雪の気配は全くなし。夏山の登山口へは林道を更に走行で

きるのだが、冬期はこの林道が閉鎖されているので冬山登山口から登り始める。

この 2 つの登山口を結ぶルートに登りはまるで竜頭山を思わせるような、空高く林立する杉木立の中を 1 本調子でひたすら登る。暫くして尾根に出たかと思ったらそこは夏山の登山口のある広い場所であった。ここから本格的な登りになる。

ヒメシャラやダケカンバの木々がそこかしこに目立ってきた。また途中 2 か所やや危険なガレ場があり、そのうち 1 か所は 100m ほどの落差、滑落したら大変だろうなと思えるくらいスパッツと切れていた。

2 本目は富士見台という文字通り富士山が眺望できる、素晴らしい登山道脇のところで休む。山梨側からの富士山を何枚か撮影した。

ここから更に登りがひたすら続くが、徐々に木々がまばらになり、遠くには雪に覆われた南アルプスの鋭鋒が見え隠れし始める。北側斜面にはかすかに雪が残っている箇所もあった。熊笹の広い山腹を超え、小さい登り返しがあって、更に登ると小さい平らな三等三角点がある山頂に到着。先客の 2 人のパーティがいた。

この山頂は明るいが残念ながら周囲の木々が本来の 360 度の大パノラマを遮っていた。木々の先の北方には山頂を雪に覆われた聖岳、上河内岳、茶臼岳、笹ヶ岳が遠望出来た。南は山伏、高塚山他がまじかに眺望。山頂で 50 分くらいゆっくりしてから下山開始。

下山してから何組かのパーティが登ってきて急に賑わってきたので少し驚いた。復路は往路をピストンして下る。

昨年末には冬の陽だまりの山伏岳を登山し、今回は同じ安倍奥山域での八紘嶺登山だったが実にここちよい春山の登山だった。

<タイム>

冬山登山口スタート (7:50) — 富士見台 (9:40) — 山頂 (11:10~12:00)

安倍峠・八紘嶺分岐点(13:00)・登山口に戻る(14:20)